

自社にあったインターンシッププログラムを設計する 長期インターンシップ設計セミナー

開催日時

2026年9月10日(木) 時間 10:00 ~ 17:00

開催会場

日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)

参加料 (税込)

- 法人会員…60,500円/1名
- 会員外…71,500円/1名

参加対象

- 採用、インターンシップに関わる人事責任者・担当者
 - インターンシップの受け入れ担当部署の責任者・担当者
- ※すでに受け入れを実施している方はもちろん、これから受け入れようとしている方も歓迎です。

ねらい 経験豊富な講師と実践例から学び、
ワークショップで実践力を身に付けます。

昨今では売り手市場の状況が継続しており、就職活動の早期化に加えて、インターンシップの普及・発展を背景に、多くの企業が早期からインターンシップを実施するようになりました。特に2022年以降、短期間の取り組みは「オープン・カンパニー」等の名称で整理され、より多様な形で実施されるようになってきました。

一方で、長期間にわたるインターンシップは、学生に対する教育効果が高いことが指摘されているものの、企業側から見ると「どのように企画し、どのように運営すればよいのか分からない」「現場負担が大きそうで踏み出せない」といった課題があり、十分に組み立てていない企業も少なくありません。

本セミナーでは、企業にとって長期インターンシップにどのように取り組むべきか、また、実施によってどのようなメリットが得られるのかを体系的に理解することを目的とします。さらに、実際に取り組む際の設計方法・運営のポイントについて、具体的な事例や得られた効果に触れながら検討します。

本セミナー受講後には、学生にとって教育効果があり、企業にとっても採用・育成・事業推進などのメリットを得られる「Win-Win な長期インターンシップ」を実現するために、どのような取り組みを行えばよいかを理解し、自社での実施に向けた具体的な一歩を踏み出せる状態を目指します。

特長

1 インターンシップを深く理解し、 自社のニーズに合致させる

インターンシップの特徴を理解し、期間・内容・目的に応じて、自社に合った適切なインターンシップの形を整理します。インターンシップの効果や設計意図を十分に理解しないまま実施し、自社のニーズとミスマッチが生じてしまうケースも少なくありません。本セミナーでは、そのズレを解消し、成果につながる企画の考え方を身につけます。

2 今どきの学生を理解し、 参加学生へのよりよい支援につなげる

インターンシップを推進する専門人材として、学生が「満足できる」「効果を実感できる」体験をつくるために必要な視点を学びます。学生の教育効果・満足度を高めるために、どのような関わり方をすべきか、どのタイミングでどのような支援が求められるのかを整理し、実務に活かせる形で理解します。

3 社内の巻き込みに必要な要素を理解し、 よりよいプログラムを提供する

インターンシップのコーディネーター人材として、社内の関係者を巻き込み、協力体制をつくりながら運営するためのポイントを理解します。必要な仕組みや役割分担を整えることで、組織として学生にとっても企業にとっても価値のある「Win-Win な長期インターンシップ」を実施できる状態を目指します。

講師 (敬称略)



今永典秀

Co-Innovation University (略称 ColU) 事務局長・教授
岐阜大学博士 (工学)

名古屋大学経済学部卒業後、大手信託銀行へ就職。その後大手自動車系不動産会社へUターン転職。経営企画部に所属しながら、ボランティアで社会人と学生が協働する団体「NAGOYA×FOREVER」を立ち上げる。その後、国立大学法人岐阜大学地域協学センターへ移り、インターンシップを中核とした次世代地域リ

「企業のためのインターンシップ実施マニュアル」「長期実践型インターンシップ入門」の著者であり、民間企業出身で、大学で産学連携プログラムや様々なプログラムを設計してきた実践者が講師を務めます。

リーダー育成プログラム産業リーダーコースの設立と運営。名古屋産業大学では専門職大学・学科の新設プロジェクトに関与し、インターンシップのプロデュースを行う傍ら、企業やNPOのアドバイザーなどをつとめる。

プログラム

[時間] 10:00 ~ 17:00 (昼食時間 12:00 ~ 13:00)

*プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

1. 趣旨説明・ガイダンス・自己紹介

本セミナーの目的・ゴール・進め方を共有し、参加者同士で課題や期待を整理する

2. 長期インターンシップの特徴 (なぜ長期が良いのか?)

長期インターンシップの価値 (教育効果・採用効果・事業推進) を整理し、短期型との違いや企業側のメリットを理解する

3. 長期インターンシップの難しさや企画のコツ

(失敗事例・他社事例)

企業がつまづきやすい失敗要因 (目的の曖昧さ、現場負担、成果が出ない等) を事例で学び、自社に合った企画設計の考え方を身につける

4. 実際の運営のポイント (ケーススタディ)

受け入れ体制、学生への関わり方、伴走支援、トラブル対応など、運営を安定させる実務ポイントをケースを通じて理解する

5. 長期インターンシップのプロジェクト設計方法 (プロジェクトシート)

企業課題と学生の成長を両立するプロジェクトの作り方を学び、プロジェクトシートを用いて自社のプログラム案を具体化する

6. 発表・フィードバック

作成したプロジェクトシート (設計案) を共有し、講師・参加者からのフィードバックを踏まえて改善する

7. 振り返り

1日の学びを整理し、社内調整・募集準備・運営体制づくりなど、

